

レベルⅠ（わかば）年間予定表

- レベルⅠ目標 ①看護師としての自覚をもち、助言を受けながら患者への看護を安全・安楽・確実に実践することができる  
 ②報告・連絡・相談しながら、看護チームの一員であるスタッフナースとして自立することができる

		前年度3月	4月	5月
段階別目標			<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院組織を理解できる</li> <li>・生活環境の変化、職場環境に適應することができる</li> <li>・自ら挨拶ができる</li> <li>・話を聞くときは相手と目を合わせ、相づちをうつなどできる</li> <li>・社会人、職人としての自覚をもち、みだしなみや言葉遣いに気をつけることができる</li> <li>・提出物の期限を守る、遅刻しない、休むときは連絡する、組織のルールに従い行動できる</li> <li>・手順、マニュアルを確認しながら指導をうける</li> <li>・手順、マニュアルを確認しながら実践できる</li> <li>・指導をうけて理解ができない部分は自ら質問できる</li> </ul>	
業務別目標			<ul style="list-style-type: none"> <li>〈日勤業務〉シャドウイング</li> <li>・入院患者の1日を知り、看護師の仕事がイメージできる</li> <li>・患者の療養環境の実際を知ることができる</li> <li>・患者に不快感を与えないコミュニケーションをとることができる</li> <li>・患者のバイタルサインを正しく測定できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>〈日勤業務〉受け持ち患者は1～2人</li> <li>・マンツーマン指導のもと患者1～2人の受け持ちができる</li> </ul>
部署・個人別等に自由に活用する欄				
プリセプター	指導内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レベルⅠ4月・5月研修、年間予定表を確認し、部署に應じた必要項目を追加</li> <li>・次年度指導者研修を受講し学びを部署に伝達する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新人に自分から積極的に声をかける</li> <li>・OJTポイントを確認し、日々の指導を行う</li> <li>・身だしなみ、接遇に関して新人のロールモデルになる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勤務が合わなくてもずれ違いのタイミングでこまめに新人に声をかける（見守っているよのサイン）</li> <li>・前向きな振り返りを行う（なぜできなかったのかではなく、どうすればできるかを一緒に考える）</li> </ul>
	研修等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が新人にとっての「安全基地」になる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が新人にとっての「安全基地」になる</li> </ul>
コーチ	指導内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリセプターの支援を行う</li> <li>・新人にとっての「安全基地」になる</li> </ul> レベルⅠ、プリセプター研修の内容を把握し研修内容を活用した指導が部署で実施できるよう調整、支援する		
チームメンバー	指導内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レベルⅠ（わかば）4月・5月研修中のチェックリスト&amp;評価表の項目に沿って指導を行う</li> <li>・OJTポイントを確認し、日々の指導を行う</li> <li>・新人への指摘事項はプリセプターではなく本人にその場で伝える（病棟の皆が指導者）</li> <li>・自分から挨拶する、話しかけやすい雰囲気をごころがける（心理的安全性を醸成する行動につながる！）</li> <li>・感染対策マネージャー、褥瘡ケア委員は4月研修の内容を確認し経験できるように指導する</li> </ul>		
副師長	【1～3月】 <ul style="list-style-type: none"> <li>・プリセプター・コーチ選出と決定</li> <li>・指導者研修内容の部署伝達を支援</li> <li>・次年度新人教育計画立案・周知</li> <li>・病棟全体で新人を育てる風土作り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病棟オリエンテーション</li> <li>・新人学習会および、学習のサポート</li> <li>・プリセプター、コーチへのサポート</li> <li>・病棟全体で新人を育てる風土作り（チームメンバーのサポート）</li> </ul>		
OJTポイント&指導における基本姿勢		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「4月・5月研修」の内容を確認し、研修内容を活用した指導を行う</li> </ul>		
		・シャドウイングの心得	・主にティーチングで指導を行う	
		①担当患者で何をみるか、何に気をつけるか、など	・手順、マニュアル類と一緒に確認する	
		打ち合わせを行う（やるから見といはダメ！）	・シャドウイングでみだからといってすぐにできると	
		②新人に何をみているか伝えながら観察する	思わない。まずは手とり足とり教える	
		③ケアを行うとき、行った後はどのようにアセスメント	・可能であれば行為に対してすぐにフィードバックをする	
		したのか指導者の思考を言語化して伝える	（ダメだではなく次どうすればうまくいくかを一緒に考える）	
		指導者が見ていること、考えていることを伝える	一緒に考える	
		・業務時間内に振り返りを行う（30分以内で終わる）	・業務時間内に振り返りを行う（30分以内で終わる）	
		今日のケアで一番学んで欲しい、習得して	今日のケアで学んで欲しい内容のうち優先度が高い	
		ほしい内容にポイントを絞る	もので多くても3つまでに絞る	
集合研修		4月・5月研修		
		・研修内容は「4・5月研修」計画を参照	・静脈注射（知識編）	
			・フィジカルアセスメント	

レベルI（わかば）年間予定表

- レベルI目標 ①看護師としての自覚をもち、助言を受けながら患者への看護を安全・安楽・確実に実践することができる  
 ②報告・連絡・相談しながら、看護チームの一員であるスタッフナースとして自立することができる

		6月	7月	8月	9月	
段階別目標		・指導を受けながら、患者に必要な看護が安全安楽に実践できる		}	→	
		・指導を受けながら、報告・連絡・相談が実施できる				
段階別目標		・指導を受けながら、患者の情報収集ができる		}	→	
		・指導を受けながらスタッフや他の医療従事者と適切にコミュニケーションをとることができる				
段階別目標		・院内研修での学びを部署に報告できる		}	→	
		・指導を受けながら、優先順位を配慮した業務計画を立てることができる				
段階別目標		・指導を受けながら、患者の病態生理、治療を理解できる		}	→	
		・指導を受けながら、患者の病態生理、治療を理解できる				
業務別目標	<日勤業務>	<日勤業務>		<日勤業務>		
	・1日の業務計画を立案できる	・指導のもと複数患者を担当し		・主体的に行動計画をたて実践できる		
	・マンツーマン指導のもと複数の患者の受け持ちができる	・日勤業務を実践できる				
	<休日日勤業務>	<休日日勤業務>				
	・指導のもと休日日勤業務が実践					
	<シャドウイング夜勤～指導夜勤>	できる				
	・2交代勤務での体調管理ができる	<指導夜勤～夜勤自立>				
	・指導夜勤に向けて自分の夜勤業務での行動をイメージできる	・マンツーマン指導のもと複数患者を受け持ち夜勤業務を実践できる				
・夜勤での自己の役割を理解できる	・個別性に応じて自立夜勤を開始する					
部署・個人別等に自由に活用する欄						
プリセプター	指導内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・OJTポイントを確認し、日々の指導を行う</li> <li>・勤務がずれ違う時などは合間合間で声をかける（見守ってるサイン、2交代勤務で体調管理ができていないか）</li> <li>・新人が受けたラダー研修の内容を把握し、日々の指導に活用する（Off-JTとOJTを連動させる）</li> <li>・指導がしんどい、つらいときなどは副師長、師長に相談する（一人で抱え込まない、新人は皆でぞでてるもの）</li> <li>・夜勤に向けて未経験項目を確認、経験できるようにサポート、不安に感じることなどへ自身の経験を語る</li> <li>・技術チェックリスト他者評価（6月）</li> </ul>			}	→
	研修等	・プリセプター会	・プリセプター会 ・プリセプター研修①	・プリセプター会		
		←----- ・新人にとっての「安全基地」になる ----->				
コーチ	指導内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリセプターの支援を行う（新人への学習課題が過剰になっていないか適宜一緒に確認する）</li> <li>・レベルI、プリセプター研修の内容を把握し研修内容を活用した指導が部署で実施できるよう調整、支援する</li> <li>・新人、プリセプターにとっての「安全基地」になる</li> </ul>			}	→
チームメンバー	指導内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・OJTポイントを確認し、日々の指導を行う</li> <li>・新人への指摘事項はプリセプターではなく本人にその場で伝える（新人は皆で育てるもの）</li> <li>・新人が報告・連絡・相談できる雰囲気をつくる</li> <li>・プリセプター会の内容を確認する</li> </ul>				
副師長		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新人への学習のサポート（課題の量、出し方について適切なものになるよう、適宜確認しプリセプター、コーチとともに設定する）</li> <li>・プリセプター、コーチへのサポート</li> <li>・病棟全体で新人を育てる風土づくり（チームメンバーのサポート）</li> <li>・病棟スタッフにとっての「安全基地」になる</li> </ul>				
OJTポイント&指導における基本姿勢	・主にティーチングで指導を行なう		→			
	・手順、マニュアル類と一緒に確認する		→			
	・シャドウイングでみたらからといってすぐにできると思わない。		①新人の考えを聴く			
	まずは手とり足とり教える		②タイミングよく承認、好ましくない行動もタイミングよく伝える			
	・可能であれば行為に対してすぐにフィードバックをする		③新人の知識と技術が結び付くように詰問ではなく発問する			
	(ダメだけではなく次どうすればうまくいくかを一緒に考える)		④新人の考えに対し助言、提案する			
	*指導者が見ていること、考えていることを言語化して伝え、新人の思考と行動がつながるようにする					
	*振り返りを行う（30分以内で終わる、ダラダラと長引かせない）		→			
今日のケアで学んで欲しい、習得してほしい内容にポイントを絞る						
ダメ出しではなく、次どうすればうまくいくかを一緒に考える						
集合研修	・フォローアップ研修①	・静脈注射（技術編）	・感染防止	・救急看護の基礎知識～ショック～		
	・救命処置技術	・12誘導心電図	・人工呼吸器の管理と取り扱い	・医療安全～チームSTEPPS～		

レベルⅠ（わかば）年間予定表

- レベルⅠ目標 ①看護師としての自覚をもち、助言を受けながら患者への看護を安全・安楽・確実に実践することができる  
 ②報告・連絡・相談しながら、看護チームの一員であるスタッフナースとして自立することができる

		10月	11月	12月
段階別目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>・助言を受けながら、患者に必要な看護が安全安楽に実践できる</li> <li>・助言を受けながら、報告・連絡・相談が実施できる</li> <li>・助言を受けながらチームメンバーの役割を遂行できる</li> <li>・院内研修での学びを実践に活用できる</li> <li>・指導を受けながら、患者の情報収集ができる</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・助言を受けながら、得た情報をもとに患者の個別性に応じた看護計画を立案・実施・評価できる</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>8月・9月目標継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助言を受けながら、優先順位を配慮した業務計画を立てることができる</li> <li>・助言を受けながら、患者の病態生理、治療を理解できる</li> </ul>	
業務別目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>〈指導夜勤～夜勤自立〉</li> <li>・指導のもと複数患者を受け持ち夜勤業務を実践できる</li> <li>（指導夜勤は個別性に依りて回数を設定する）</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>〈夜勤自立〉</li> <li>・指導のもと夜勤業務を実践出来る</li> </ul>		
部署・個人別等に自由に活用する欄				
プリセプター	指導内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・OJTポイントを確認し、日々の指導を行う</li> <li>・新人が受けたラダー研修の内容を把握し、日々の指導に活用する（Off-JTとOJTを連動させる）</li> <li>・指導がうまくいかないと感じる点があるときは速やかにコーチ、副師長に相談する</li> <li>・指導がしんどい、つらいときなどは副師長、師長に相談する（一人で抱え込まない、新人は皆でぞだてるもの）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新人の「残り3か月の目標」を確認、共有し達成に向けて支援する</li> <li>・技術チェックリスト他者評価（12月）</li> </ul>
	研修等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリセプター会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリセプター会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリセプター会</li> <li>・プリセプター研修②</li> </ul>
コーチ	指導内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリセプターの支援を行う（指導で困っていることなどに対して一緒に考える）</li> <li>・レベルⅠ、プリセプター研修内容を把握し活用した指導が部署で実施できるよう調整、支援する</li> <li>・新人、プリセプターにとっての「安全基地」になる</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新人の「残り3か月の目標」を確認、共有し達成に向けて支援する</li> </ul>
チームメンバー	指導内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・OJTポイントを確認し、日々の指導を行う</li> <li>・新人が報告・連絡・相談できる雰囲気をつくる</li> <li>・プリセプター会の内容を確認する</li> </ul>		
副師長		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新人の個別性に依りた学習サポート</li> <li>・プリセプター、コーチへのサポート</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新人、プリセプター、コーチが立案した「残り3か月の目標」を確認し、目標が適切か助言する</li> <li>・プリセプター、コーチとともに「看護の振り返り」発表の計画立案</li> </ul>
OJTポイント&指導における基本姿勢		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別性に依りた学習支援を行う</li> <li>・指導者と新人が課題と感じていること（短期目標）にズレがないか定期的に確認し、両者で共有する</li> <li>・新人のネガティブな側面ばかりではなく、強みはなにかを見つけ指導に活かす（リフレーミングしてみる）</li> <li>・「ちゃんとしないと」「きちんとしないと」などの抽象的な言葉ではなく新人が行動レベルで理解できる具体的な言葉で伝える</li> <li>・タイミングよく承認する、好ましくない行動についてもタイミングよく伝える（アクションが行われてから60秒以内が効果的）</li> <li>・振り返りは「なんでできなかったのか、」「何が悪かったのか」ではなく現状をしっかりと伝え「どうすればできるようになるか」を考える</li> </ul>		
集合研修		<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護倫理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続看護</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意思決定支援</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・フォローアップ研修②</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーダーシップ</li> <li>・フォローアップ研修③</li> </ul>

レベルⅠ（わかば）年間予定表

- レベルⅠ目標 ①看護師としての自覚をもち、助言を受けながら患者への看護を安全・安楽・確実に実践することができる  
 ②報告・連絡・相談しながら、看護チームの一員であるスタッフナースとして自立することができる

		1月	2月	3月
段階別目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>・助言を受けながら、患者の個性に応じた看護を安全安楽に留意して実践できる</li> <li>・自分の考えをもって、報告・連絡・相談が実践できる</li> <li>・得た情報をもとに、患者の個性に応じた看護計画を立案・実施・評価できる</li> <li>・チームメンバーとして自己の役割と責任を果たすことができる</li> <li>・助言を受けながら優先順位をつけ、業務を遂行することができる</li> <li>・未経験項目、自信のない技術を洗い出し、自ら発信できる</li> </ul>		
業務別目標		担当看護師の役割を理解し実践できる 複数の患者を担当し多重課題を解決できる		
部署・個人別等に自由に活用する欄				
プリセプター	指導内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当看護師オリエンテーション</li> <li>・担当看護師として患者と一緒に担当（看護過程と一緒に展開する）</li> <li>・新人の「残り3か月の目標」が達成できるように支援する</li> <li>・OJTポイントを確認し、日々の指導を行う</li> <li>・コーチと共に「看護の振り返り」の発表に向けて支援を行う</li> </ul>		
	研修等	・プリセプター会	・プリセプター会	・プリセプター会
コーチ	指導内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリセプターの支援を行う（指導で困っていることなどに対して一緒に考える）</li> <li>・新人、プリセプターにとっての「安全基地」になる</li> <li>・「看護の振り返り」オリエンテーション</li> <li>・プリセプターと共に「看護の振り返り」の発表に向けて支援を行う</li> </ul>		
チームメンバー	指導内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・OJTポイントを確認し、日々の指導を行う</li> <li>・新人が報告・連絡・相談できる雰囲気をつくる</li> <li>・プリセプター会の内容、新人の「残り3か月の目標」を確認し達成できるように支援する</li> </ul>		
副師長		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新人の個性に応じた学習サポート</li> <li>・プリセプター、コーチへのサポート</li> <li>・病棟全体で新人を育てる風土づくり（チームメンバーのサポート）</li> </ul>		
OJTポイント&指導における基本姿勢		<ul style="list-style-type: none"> <li>・個性に応じた学習支援を行う</li> <li>・指導者と新人が課題と感じていること（短期目標）にズレがないか定期的に確認し、両者で共有する</li> <li>・新人のネガティブな側面ばかりではなく、強みはなにかを見つけ指導に活かす（リフレーミングしてみる）</li> <li>・タイミングよく承認する、好ましくない行動についてもタイミングよく伝える</li> <li>・報告、相談があったとき、気になる症状がある時は、ベッドサイドに行き一緒に確認する</li> <li>・重症患者ケア時、急変対応時などは振り返りを行う</li> </ul> <p>【振り返りのポイント】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①一般論ではなく経験した場面に焦点化して発問、説明を行う</li> <li>②新人がどのように捉え、感じ、考えていたのかを想起、説明させた上で、指導者はどのように捉え感じ考えていたのかを説明する</li> <li>③その場で活用した、もしくは活用できたかもしれない知識やルールを一緒に確認する</li> <li>④次の実践でどのように行動するのかを問う</li> <li>⑤肯定的な部分も理由と一緒にフィードバックする（成功体験につなげる）</li> <li>⑥どんな意見も発言できるような態度で関わる</li> </ol>		
集合研修		・3月まとめ研修		